

2012年度聖和短期大学自己点検・評価結果について

関西学院評価推進委員会

委員長 ルース・M・グルーベル

聖和短期大学の2012年度自己点検・評価結果である「2012年度聖和短期大学自己点検・評価報告書」を公表いたします。

関西学院は、内発的で自律的な発展への循環過程（PDCAサイクル）を強化するため、認証評価と連動させた自己点検・評価を毎年行う制度（「新たな自己点検・評価」）を2004年度に構築しました。

聖和短期大学は、2009年度に短期大学基準協会の評価項目に本学独自の評価項目を加えたものを評価項目として定め、評価項目ごとに2013年度までの目標を設定しました。そして、2010年度から学内第三者評価を組み込んだ自己点検・評価を毎年実施しその結果を公表してきました。

本年度（2012年度）は3回目の実施となりますが、6月より自己点検・評価を開始し、7月には全学の自己点検・評価の実務作業を担う評価専門委員会に自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）を提出しました。8月からは評価専門委員会が自己点検・評価に対して「学内第三者評価」を行い、10月には自己点検・評価報告書（進捗状況報告シート）返却に伴い、相互に内容を説明・確認し合い、よりよい自己点検・評価や組織的な改善への取り組みを行っていくために、評価専門委員会と聖和短期大学が意見交換を行いました。その後、聖和短期大学による「学内第三者評価を受けての追加記述」「公示」「意見申し立て」を経て、本日、関西学院評価推進委員会において「2012年度聖和短期大学自己点検・評価報告書」が承認されました。

この報告書において、浮かび上がってきた「効果が上がっている事項」や「改善すべき事項」、「学内第三者評価」によって指摘された事項などに真摯に向き合い、教育研究水準の向上を図っていきたいと思います。

以上